

村田豊建築設計資料整理報告

[資料紹介]

飛田ちづる*

Report of architectural materials by MURATA Yutaka

Tobita Chizuru

This is the temporary report of architectural materials by MURATA Yutaka, who is famous for PNEU and Nihon Bankoku exhibition in 1970, which is partly collected at "Le Centre du Pompidu". His activity is not placed at the era, however the project might be jazzy and challenging. Half of the materials is already listed and published at NAMADB. New viewpoint of his activity will be found in the future after listed.

キーワード：村田豊、空気膜構造、パビリオン

1. はじめに

本報告は、2019(令和元)年度に贈与契約を締結した村田豊建築設計資料の整理に伴う調査報告及び、佐々木の研究¹に記載された村田豊のプロジェクトに加え、新たなプロジェクトを記載し、同時に写真資料から可能な範囲でプロジェクトの確認を行い報告するものである。同資料群は、図面以外は現在も整理中であり、今後新たなプロジェクトが追加される可能性もある。

村田豊は前出の研究にも記載されているように1917(大正6)年に新潟県新潟市に生まれ、1985(昭和60)年に没するまで、1970(昭和45)年に「管圧式空気構造建築技術の開発」により科学技術庁長官賞を受賞するなど、一貫して建築の可能性に独自の姿勢をもって挑み続けた。代表作として日本万国博覧会のパビリオンにおける空気膜構造施設が挙げられる。また、建築評論家の川添登との親交から、キャンティの設計も担当した。

2. 村田豊建築設計資料の収蔵までの経緯

旧村田豊建築事務所を出所とする。1988(昭和63)年に村田豊が逝去し、同事務所が閉鎖された後、資料は遺族へと引き継がれ、村田家(新潟県新潟市)に移された。2003(平成15)年頃、これらの資料のうち、村田の代表作に関する建築設計図書と模型の一部がポンピドゥー・センターに寄贈された。2013(平成25)年12月、村田家の実家にて保管されていた資料は、村田豊息女のあが氏が勤務する跡見学園女子大学(埼玉県新座市)へと移され、2019(令和元)年9月に贈与契約を締結し、後国立近現代建築資料館収蔵に至った。

本資料群は村田豊建築事務所を含めた村田豊の建築設計活動に関するものであり、図面筒23本、図面ケー

ス8点、ケースなし図面16束、模型2点、書籍、報告書、アルバム等段ボール13点、写真額装1点、写真筒1点、映像資料段ボール1箱から構成される。

これらを、図面とそれ以外に分けて、概要調査の結果全体の構成を決め整理を行った。フォンドの下位に前述の容器をファイルとして位置づけた。ファイル番号は1から48番を図面、後半をそれ以外とした。2021(令和3)年4月現在、図面は既に目録作成を終え、後半のファイルを整理中である。なお、整理中ではあったが、当館主催2020(令和2)年度後期展覧会である収蔵品展に富士グループパビリオンの立面図の青焼きを出品した。また、国立近現代建築資料館収蔵資料検索システム(NAMADB)にファイルレベルのデータを投入済みである。

3. 村田豊建築設計資料の整理方針

村田豊建築設計資料の整理方針は、図面の前半と後半およびその他で異なる。本来であれば統一した方針の下、調査と整理を行うことが望ましいが、前半部分については後半と合わせた方法をとることが可能なように目録を作成しているため、こうした方式を採用した。

後半の整理方針は以下のとおりである。大原則として当初の状態をそのまま目録に記述することを決め、調査者の判断を含まない整理方法を採用している。つまり、資料調査時、目録作成時に判明することは備考欄等にファイルあるいはアイテムレベルで記載はするものの、物理的に関連性のある資料をまとめたり、図面等に記載されている番号順に並べ替えたりといった作業は行わない。また、収蔵資料検索データベース(NAMADB)への資料情報掲載を前提としているため、資料番号として、例えばアイテムとした資料にはフォンド番号からアイテム番号までを振り、アイテム以下の目録は同時に

*国立近現代建築資料館研究補佐員、博士(世界遺産学)

作成せず、員数のみ記載している。

この手法を採用することで、資料群を研究する人間が改めて調査を行う環境を整えた。調査者による判断を行わないことで、研究を行う人間の判断が研究の初期段階となる。

建築資料を調査する人間は、その多くが建築の知識を持つため、資料調査や目録作成の際に自らの経験に基づき、番号順の並べ替え、まとめ、或いは第二原図、施工図といった分類を行うことが多いようである。

しかし、その作業により失われる情報が少なからず存在すると思われファイル25番以降は採用していない。この手法を採用することにより、調査者の作業が早くなること、並べ替え等を行わないが備考欄に判明したことや他の資料との関連性から推察できることを記入し、一通りの整理を終えたのち、さらなる調査、あるいは研究を行える下地作りとした。

手つかずの資料を並べ替えることにより、失われる情報を可能な限り減らすという方針のもと実施した結果であることを記したい。

4. 資料整理の経過報告と追加プロジェクト

4.1. 全体の傾向

2019(令和元)年度6月から図面の整理を開始した。6月から1月までにファイル1番から24番、2020(令和2)年度9月から1月までにファイル番号25番から48番の整理と目録作成を終えた。

並行して、ファイル49番以降の資料の整理も進めている。こちらは書簡、写真、アパチャーカード、業務用のメモ、書類などが含まれている。また、委託会社の図面なども含まれている。概要調査のレベルではあるが図面以外の資料もまた、村田豊氏の建築活動を物語る。

前任者の資料によれば現地調査を行い当館に運び込んだ際に箱ごとに番号を振り、それをファイル番号とした。図面一枚から、紙質、表現手法、スクリーントーンの表現、色鉛筆と鉛筆、村田豊建築事務所の印、修正の手法などが読み取れる。

概算であるが、A0以上、A1、A2、A3、B4、B5大に大別され、最も多い判型はA1、少ない判型はA0及びB4以下である。

4.2. 追加プロジェクトの数と種類

今回の報告では、図面の整理と書類、写真等の一部を整理し、既存研究で発表されているプロジェクトに追加すべきものがあるとわかったので、表1に判明した年代とともに記す。原則として村田豊事務所設立後の1956

(昭和31)年以降としたが、収蔵資料に含まれている寺田邸は記載した。また、収蔵資料ではないが村田あが氏から村田豊氏のプロジェクトとして提示された永田邸も追記している。プロジェクト年代は今後の整理により多少前後する可能性はある。追加プロジェクトの名称および年代については資料調査時に判明した、図面の記載を採用している。表中「新規」欄に※印のあるものは今回の調査で判明したプロジェクトであり、「収蔵」欄に印のあるものは当館に図面を収蔵しているプロジェクトである。

4.3. 全体の傾向

図面資料のうち、最も多いプロジェクトは博覧会関係、次いで、レストラン、住宅が並ぶ。また、村田豊の特徴である空気膜構造(以下、PNEU)を見れば、養鰻、プール、遊園地なども見られる。また、病院の設計も行っている。

博覧会関係が多いのは、村田豊の得意とする、空気膜構造の活躍する場が永続的な用途ではなく、一時的な用途にその利便性と華やかさを見出されているからだと思われる。一方で永続的な用途の場合、倉久邸別邸(クラーク邸別邸)のように、屋根の意匠、家具、照明の曲線にその特異性を見出すことができる。村田豊氏の仕事に使われた手帳やメモなども残されているため、今後こうした設計に関してメモが残されていれば、合わせて調査することで、より深く理解することができると思われる。

図面から、第二原図ではない複写された図面が残っている7-25のようなファイルも存在する。博覧会パビリオンを除き公共性の高い建築を扱った印象は薄いものの、鳥羽市、新潟市役所に関連した計画案も存在する。なお、追加プロジェクトのうち年代の判明しないものは、21件ある。

4.4. 追加プロジェクトの傾向

整理の結果今回の整理で追加されたプロジェクトのうち年代の判明しているものは、1970年代および1980年代(昭和40年代後半から60年代)が多い。その内訳は空気膜構造が最多と思われ、ついで商業施設としてレストランである。年代の判明していないプロジェクトは、空気膜構造8件、商業施設6件、個人住宅2件である。寄贈者である村田あが氏から、事務所の受注傾向として空気膜構造を追求しつつ、並行して商業施設の受注もしていたと聴いており、それが裏付けられたといえる。

また、テニスコート、プール、養鰻施設などPNEU

は屋外施設で使用されるため、屋外施設の受注の多いことも特徴的である。商業施設については、村田の印象的な華やかさがハレの日を演出する必要がある商業施設において喜ばれたのではないだろうか。

印象論であるが村田豊は、時代に即した設計や、建造物および記念碑に象徴される永続性とは別の意義を希求した建築家と推察する。村田豊建築設計資料の図面は全体的に力強い。他の資料と合わせ、今後思考の過程を辿ることができる可能性もある。

注

- 1 佐々木暢「村田豊の建築——同時代の空気構造と彼のオリジナリティ」(2014年度東北大学大学院工学研究科修士論文)

謝辞

本報告は、村田豊建築設計資料の寄贈者である村田あが氏(跡見女子学園大学教授)の助言、前任者の藤本貴子氏(法政大学教務助手)らによる収蔵手続きと目録作成に加え、稲垣晴夏氏(国立映画アーカイブ)、小澤梓氏(埼玉県立公文書館)、岡野春咲氏(千葉大学大学院修士課程)の整理と目録作成による。ここに記してお礼申し上げる。

(2021年5月11日原稿受理)

表1 村田豊氏のプロジェクト一覧

竣工/計画年	新規	収蔵	プロジェクト名	備考†1
1952 (昭和27年)		※	寺田邸	
1959 (昭和34年)			岡田邸	木造応力外皮屋根
	※		エスゲラ箱根別荘案	
1960 (昭和35年)			長崎印刷埼玉工場	
			チェニス首都計画国際コンペ案	
	※		レストランキャンティ内装	S40
	※		鳥羽ホテル計画案	
1961 (昭和36年)		※	高橋邸	
	※		三浦邸	
	※		賛育会病院	S37
1962 (昭和37年)		※	レストラン常盤家	
			ポール・ネロ邸案	
	※		日本鉱業給油所案	S36
	※		千葉県知事公邸改装	
			村田宗家の墓	
	※		日本鉱業給油所案	
	※		すきやき「神戸」	
1963 (昭和38年)	※	※	REZ de-CHAUSEE	
	※		絵画堂ギャラリー	
			ラジオ関西改装案	
	※		龍村織物美術館東京支店改装	
1964 (昭和39年)		※	寺中邸	吊屋根 S38
		※	レストランキャンティ増築	
		※	保坂邸	吊屋根 S38
		※	乃木坂マンション案	
1965 (昭和40年)	※	※	Project pour Le Coin de Bourigue au Grands Mazons Matuzakaya	
		※	クラブ・シャングリラ内装	
		※	日本炭素ビル案	
		※	光輪閣将来計画案	
		※	ソニービル内装工事 (ベルベデーレ内装)	
		※	荻野邸	
1966 (昭和41年)		※	福澤邸	
		※	三井邸	吊屋根
		※	ベルベデーレ内装	
		※	HAKONE	狸穴CHIANTISSIMO
	※	※	鳥羽市開発計画案 鳥羽市観光商業地域造成診断報告書第2編	1966-2
1967 (昭和42年)			ピニシェル計画案	
			フォントナ内装	トリコット構造
		※	クラブ・トベ	
		※	ラ・モール内装	
		※	バブ・カーディナル	棚
		※	三好箱根別邸案	吊屋根
		※	新聞邸 (案)	S52
		※	万博本部ビル設計競技審査員	
		※	シャンゼリゼ内装工事	
		※	佐渡改装 佐渡雲清山庫裏本屋改装	
	※	※	上野・松坂屋キャンティ	4 2 . 3 . 2 4 4 2 . 4 . 6 4 6 . 1 . 2 1
1968 (昭和43年)		※	加納邸マンション内装	トリコット構造
		※	ブティック・ペビードール内装	
1970 (昭和45年)		※	クラブ花内装	
		※	亜鉛鉄板コンペ	
		※	日本万国博覧会富士グループパビリオン	空気膜構造
		※	日本万国博覧会電力館水上劇場	空気膜構造 S44
		※	渡辺邸	
		※	キャンティ名古屋松坂屋本店新館8階レストラン	
		※	クラブニューハナ内装	
		※	バーラー・羅甸内装	
		※	サンジェルマン内装	
1971 (昭和46年)	※	※	パリボンビドーセンター国際コンペ案	引張構造
		※	村田邸計画案	
		※	箱根コンペ案	
	※	※	伊勢丹デパート地下鉄連絡階段拡張計画案	
1972 (昭和47年)	※	※	PNEUMATIC STRUCTURE	
		※	ソビエトロシア青少年スポーツ施設案	空気構造
	※	※	水泳場+アイススケート場	
		※	海洋博ステンレス二重膜空気構造案	
		※	宮田邸計画案	
		※	ジャクラ計画案	
		※	クラーク別邸 倉久氏別邸	
1973 (昭和48年)		※	キャンティ赤坂店内装	
		※	広橋医院	吊構造
		※	空気仮枠FRP量産住宅案	
		※	上杉邸	吊構造
	※	※	テニスコート	S46
1975 (昭和50年)		※	原宿のビル計画	吊構造
		※	永野邸 (案)	
		※	沖繩海洋博覧会芙蓉グループパビリオン	
			吊構造による小学校建築案	
		※	クラブシャトレ	S40
1976 (昭和51年)		※	網膜式空気構造開発	S53
		※	村井邸	
		※	M式水耕研究所用空気構造温室	
		※	三重県 養鱈池用空気構造	
		※	初山クラブ計画案	
		※	CAF_ LATIN HIROSHIMA	
		※	CAF_ LATIN CHIBA	
		※	松岡産業用鰻エアーハウス	
		※	日野市高幡台スポーツランド管理棟新築工事試案	51.4.7, 52.1.19, 52.2.7
		※	銀座羅蜀	51.5.26
		※	PNEUMATIC HYDROPONIC GREEN-HOUSE in NAGOYA	
		※	グリーンウッドPNEU	
		※	大林組リヤドニューマチックグリーンハウス (案)	
1977 (昭和52年)		※	持田邸	
			レストランベルベデーレ吉祥寺店内装	
		※	箱根小涌園子供村「空気のお山」	
		※	箱根小涌園プールサイド	
		※	辻口邸	吊構造 不明
		※	日野市児童館試案	
		※	広島駅ビル2F羅蜀改装工事	
		※	PNEUMATIC HILL NO.7	
		※	農業用PNEUMATIC HOUSE NO.4	
		※	小涌園PNEUMATIC HILL	
		※	箱根別荘	
1978 (昭和53年)			芦屋の吊構造ビル案	
		※	神戸垂水中学校プール空気構造上屋	S52
			名鉄スーパーマーケット屋上プール空気構造上屋	
		※	HAKONE新築工事	
		※	黄桜酒造PNEU	
		※	40m x 40m TENT プール 家庭用 プールPNEU	
		※	アラビアPNEU (案)	53.4.28
		※	グリーンウッドテニスランチ 空気構造屋内テニスコート	53.5.25
1979 (昭和54年)		※	箱根三好別邸	
			針生邸	
			神戸神楽台、同王塚台中学校プール空気構造上屋	
			名古屋家具移動展示用空気構造	
			青山ピラ・モデルナ 中目黒	二重膜空気構造
			青山表参道ビル屋上実験農場用空気構造	
			北海道上の国町・湯の町町営 プール空気構造上屋	
		※	HAKONE新築工事	
		※	社会学園PNEU	
		※	玉川高島屋展示空気構造	
		※	(テニスコート)	54.1.11
		※	テニスコート 三面用空気構造	54.5.14
		※	プールPNEU (竜興興業のもう一つのプール)	54.12.5
1980 (昭和55年)			岐阜県多治見高校プール空気構造上屋	
			名古屋近郊釣り堀空気構造上屋	
			木曾福島町味噌倉空気構造	
		※	箱根小涌園子供村施設	
		※	正ちゃん池 PNEU	55.8.28
		※	小田急城テニスガーデン	55.8.4
		※	ブルドーム (日本アルミ カタログ用)	55.2.20

竣工/計画年	新規	収蔵	プロジェクト名	備考	
1981 (昭和56年)	※	※	柴田邸案	吊構造	
			サーカステント案	サスペンション膜構造	
			宮崎県立工業高校プール空気構造上屋		
	※	※	沖縄パシフィックホテルプール空気構造上屋		
			日本大学横芝セミナーハウスプール空気構造上屋		
	※	※	名古屋フラワーショー用空気構造	管圧式	
	※	※	神戸ポートピア博覧会芙蓉グループパビリオン		
			空気膜構造計画案		
			空気膜構造		
	※	※	慶応大学50M+30M プールPNEU	56.12.4	
1982 (昭和57年)	※	※	新宿伊勢丹デパート屋上遊具	空気構造 S50	
	※	※	池袋サンシャインシティ屋上遊具「胎内くぐり」	空気構造	
			日本橋三越デパート屋上空気構造及びグリッドシェル案		
			EXPO'85農林水産館案及び芙蓉館案	空気構造	
			ラ・ヴィレットコンペ案		
	※	※	「長生きする家」コンペ案	1982	
	※	※	POOL PNEU No.82709	57.7.9	
	※	※	橋本高校	57.9.29	
	1983 (昭和58年)			群馬スイミングスクール空気構造	
				ディズニールンド用空気構造案	
			新潟博覧会会場全域を覆う空気構造案		
			ミサワホーム研究所及び同伊豆実験農場用空気構造案		
※		※	東京国立競技場テニスコート及び駐車場空気構造案		
※		※	草津町プールPNEU No.2	58.2.4	
※		※	草津町プールPNEU No.1	58.2.4	
1984 (昭和59年)				高知黒潮博覧会ヤンマー館空気構造	
				栃木博覧会農業館空気構造	
				沖縄プール空気構造上屋	
	※	※	東京都三宅島阿古小・中学校体育館空気構造		
			鹿児島テクノフェア空気構造パビリオン		
	1985 (昭和60年)			新宿伊勢丹デパート屋上遊具「エアロトンネル」	空気構造
			太陽工業エアロジウム (空気構造遊具) 試作		
※		※	ダイキン、テニスコート用空気構造案		
			太陽工業、間伐材によるジャングルジウム		
※		※	YOKOTA	米軍横田基地内プール 製造はM式水耕研究所 1985年2月15日	
※		※	名山小学校屋上プール	製造はM式水耕研究所 1985年2月15日	
※		※	神社	1985.8.8	
1986 (昭和61年)	※	※	村田式網膜空気構造CABLE NET 交点金物	1985 8 31	
			熊本博覧会空気構造水耕パビリオン案		
			φ300m空気膜構造案		
1987 (昭和62年)	※	※	国際蘭博覧会のための2棟のパビリオン		
	※	※	新潟市役所跡地建設計画 (案)	9月1日	

			家具等図面	
	※		江崎邸内扉	
			ミロワール	
			三角テーブル	
	※		田中邸	
			内装	
			設備	
			トヨウケ邸計画案	
	※		住宅計画案 試作組立住宅	
			鉄骨造住宅コンペ案	
			佐藤邸計画案	
			プレハブ住宅案	
			プロジェクト不明	
	※	※	全自動水耕空気構造農園	
	※	※	ONCOURS INTERNATIONAL- PARC DE LA VILLETTE PARIS	
	※	※	中村風船乗り	
	※	※	Alpha cubic	アパレル会社のプティック、オフィス (M.A.)
	※	※	キャンデー水耕	
	※	※	JACRA伊豆工場	
	※	※	鳥の立花	
	※	※	CAF LATIN TOKUYAMA	
	※	※	La Maijoin Latine a TOKUYAMA	
	※	※	川添邸	
	※	※	ボーリング場	
	※	※	日本橋羅蜀	
	※	※	宮口邸	
	※	※	〔プール〕	
	※	※	網膜空気構造水泳場計画	
	※	※	M氏邸	
	※	※	Mさんの住まい	
	※	※	FRP Sandwich Domes Shaped on the Shallowest Possible Pneumatic Forms	
	※	※	PNEU POLI-CLIMATES	

	※	永田 (鐵佐) 邸 †2	(M.A.)
--	---	--------------	--------

	※	半田 †3	半田富久氏の揺れる石の彫刻の技術的な相談に乗ったもの (M.A.)
--	---	-------	-----------------------------------

†1 S40は昭和40年を示す。なお、図面に記載されていた年を記しているため、既存研究と齟齬がある。

†2 収蔵資料ではないが、村田あが氏の指摘によりプロジェクト一覧に追記した。

†3 プロジェクトではないが、図面に準じるものが収蔵されているため加えている。